令和8年11月5日発表

石 川 県 内 経 済 情 勢

令 和 8 年 10 月
財務省北陸財務局

県内経済は、持ち直している。

先行きについては、観光需要や生産活動を中心に、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の影響に加え、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

（注）8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：回復に向けたテンポが緩やかになっている。

百貨店・スーパー販売
飲食料品の動きが鈍いことから、回復に向けた動きに一服感がみられる。

コンビニエンスストア販売
カウンターフーズに動きがみられるものの、米飯類の動きが鈍いことから、前年並みとなっている。

ドラッグストア販売
飲食料品に動きがみられることから、順調となっている。

ホームセンター販売
園芸用品等に動きがみられることから、堅調となっている。

家電大型専門店販売
エアコン等に動きがみられることから、持ち直している。

新車販売台数
持ち直している。

主要観光地の来訪客数
前年を上回っている。

主要温泉地の宿泊客数
前年を上回っている。

設備投資：8年度は減少見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（8年7-9月期調査））
製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。

住宅建設：緩やかに持ち直している。
新設住宅着工戸数でみると、緩やかに持ち直している。

公共事業：前年を下回っている。

前払金保証請負金額
前年を下回っている。

生産活動：持ち直している。

汎用・生産用・業務用機械

金属加工機械や繊維機械が増加していることなどから、全体では回復しつつある。

電気機械

自動車向けで持ち直しつつあるほか、AIサーバー向けで増加していることなどから、全体では緩やかに持ち直している。

化学

大宗を占める医薬品で、回復している。

繊維

衣料向けを中心に弱含んでいる。

企業収益：8年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（8年7-9月期調査））

製造業は減益見込み、非製造業は増益見込みとなっている。規模別では、大企業、中小企業は増益見込み、中堅企業は減益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「下降」超となっている。（法人企業景気予測調査（8年7-9月期調査））

現状判断（8年7-9月期）は、製造業は「下降」超、非製造業は「上昇」と「下降」が均衡している。

なお、先行きは、全産業では8年10-12月期は「上昇」超、9年1-3月期は「上昇」と「下降」が均衡する見通しとなっている。

雇用情勢：持ち直しの動きに一服感がみられる。

有効求人倍率（季節調整値）

おおむね横ばいとなっている。

新規求人数

前年を下回っている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を下回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を上回っている。

負債総額は前年を下回っているものの、件数は前年を上回っている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL（076）292-7858